

2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月30日

上場会社名 株式会社ハマキョウレックス 上場取引所 東
 コード番号 9037 URL <https://www.hamakyorex.co.jp>
 代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 大須賀 秀徳
 問合せ先責任者 （役職名） 執行役員管理本部長 （氏名） 竹内 義之 TEL 053(444)0054
 兼経営企画室長
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	41,428	10.8	4,332	20.6	4,861	23.3	2,964	19.1
2026年3月期第1四半期	37,392	4.6	3,594	9.6	3,943	10.5	2,489	15.6

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 3,305百万円（17.1％） 2026年3月期第1四半期 2,823百万円（13.9％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	40.04	—
2026年3月期第1四半期	33.63	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	174,106	112,510	57.0
2026年3月期	172,360	111,111	56.8

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 99,231百万円 2026年3月期 97,949百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	18.75	—	23.00	41.75
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		23.00	—	23.00	46.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	165,500	6.4	16,300	10.4	17,200	7.0	10,800	0.7	145.91

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 -社 (社名) -, 除外 -社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	76,048,000株	2026年3月期	76,048,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	2,020,118株	2026年3月期	2,020,118株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	74,027,882株	2026年3月期1Q	74,007,600株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(会計方針の変更)	5
(追加情報)	5
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	5
(セグメント情報等の注記)	6
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善やインバウンド需要の高まりにより、緩やかな回復傾向が続いております。一方で、継続的な物価上昇による個人消費への影響や中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー、原材料価格の高騰リスク等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当業界におきましても、原油価格の高騰や人手不足等、経営環境は引続き厳しい状況が続いております。

こうした中、当企業グループの当第1四半期連結累計期間は、営業収益414億28百万円（前年同期比10.8%増）、営業利益43億32百万円（同20.6%増）、経常利益48億61百万円（同23.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益29億64百万円（同19.1%増）となりました。

各セグメント別の営業状況は、次のとおりであります。

（物流センター事業）

当第1四半期連結累計期間の営業収益は271億62百万円（前年同期比12.4%増）、営業利益は36億30百万円（同10.8%増）となりました。

増収増益の主な要因につきましては、物流センター運営の充実と前連結会計年度及び当連結会計年度に受託した新規センターが順次業績に寄与したこと、M&Aによる効果があったこと等によるものであります。

また、新規受託の概況につきましては、5社の物流を受託しております。

稼働状況につきましては、前期受託した1社を含めた6社すべてが稼働しております。

なお、物流センターの総数は、200センターとなっております。

引続き日々収支、全員参加、コミュニケーションを徹底して行い、収支改善に向け取り組んでまいります。

（貨物自動車運送事業）

当第1四半期連結累計期間の営業収益は142億66百万円（前年同期比7.9%増）、営業利益は6億86百万円（同124.0%増）となりました。

増収増益の主な要因につきましては、運賃値上げ交渉による効果があったことや貸切便収入の増加があったことに加えて、配送ターミナル業務での生産性向上によるコスト抑制効果があったこと等によるものであります。

今後につきましては、輸送物量の増加、管理強化による輸送コストの抑制に努めるとともに、近物レックス(株)において、事業開発の専門部署を中心とした、貸切事業やグループ内取引の拡大と更なる生産性の改善を進め、収益性の向上に努めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

（当第1四半期の状況）

当企業グループの当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比17億45百万円増加し、1,741億6百万円となりました。これは主に、設備投資により有形固定資産が増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末比3億47百万円増加し、615億95百万円となりました。これは主に、法人税の支払いによる未払法人税等が減少したこと、設備投資により借入金が増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末比13億98百万円増加し、1,125億10百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益29億64百万円の計上と剰余金の配当による17億2百万円の減少によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の56.8%から57.0%へと増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績見通しといたしましては、営業収益1,655億円（前年同期比6.4%増）、営業利益163億円（同10.4%増）、経常利益172億円（同7.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益108億円（同0.7%増）を見込んでおります。

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであります。当企業グループの主たる事業である物流センター事業及び貨物自動車運送事業については経済、景気動向及びお客様の業況等の変動により影響を受ける可能性があり、業績予想の修正が必要となる場合は速やかに開示いたします。

なお、軽油単価の変動による影響につきましては、1リットル当たりの単価1円の変動により、年間40百万円の影響が生じる可能性があります。

当企業グループでは、燃料サーチャージ制度の導入等により、燃料価格の変動に伴う価格変動リスクの低減に努めており、引き続き外部環境の変化に柔軟に対応した事業運営を進めてまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,509	27,208
受取手形、売掛金及び契約資産	18,497	18,810
商品	11	10
貯蔵品	178	184
その他	4,526	4,326
貸倒引当金	△49	△49
流動資産合計	49,675	50,491
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	42,535	42,948
土地	56,117	56,146
その他（純額）	11,976	12,532
有形固定資産合計	110,629	111,626
無形固定資産	2,586	2,499
投資その他の資産	9,468	9,488
固定資産合計	122,684	123,614
資産合計	172,360	174,106
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,474	7,140
短期借入金	12,942	13,220
未払法人税等	3,245	1,715
賞与引当金	1,601	1,702
その他	10,500	11,598
流動負債合計	35,764	35,377
固定負債		
長期借入金	11,868	12,660
退職給付に係る負債	4,981	4,958
その他	8,633	8,598
固定負債合計	25,484	26,217
負債合計	61,248	61,595
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,547	6,547
資本剰余金	6,499	6,499
利益剰余金	85,543	86,805
自己株式	△1,926	△1,926
株主資本合計	96,664	97,925
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	960	997
退職給付に係る調整累計額	324	308
その他の包括利益累計額合計	1,285	1,305
非支配株主持分	13,161	13,278
純資産合計	111,111	112,510
負債純資産合計	172,360	174,106

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
営業収益	37,392	41,428
営業原価	32,537	35,748
営業総利益	4,854	5,680
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	1	0
役員報酬	225	238
給料及び手当	298	356
賞与引当金繰入額	40	29
退職給付費用	7	3
その他	687	719
販売費及び一般管理費合計	1,260	1,347
営業利益	3,594	4,332
営業外収益		
受取利息	1	4
受取配当金	54	65
固定資産売却益	49	44
助成金収入	125	338
売電収入	107	118
雑収入	160	129
営業外収益合計	499	700
営業外費用		
支払利息	60	79
売電原価	55	70
雑損失	34	22
営業外費用合計	150	171
経常利益	3,943	4,861
特別利益		
負ののれん発生益	36	-
特別利益合計	36	-
特別損失		
和解金	17	-
特別損失合計	17	-
税金等調整前四半期純利益	3,962	4,861
法人税、住民税及び事業税	1,331	1,570
法人税等調整額	△88	8
法人税等合計	1,243	1,578
四半期純利益	2,718	3,283
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,489	2,964
非支配株主に帰属する四半期純利益	229	319
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	117	43
退職給付に係る調整額	△13	△21
その他の包括利益合計	104	21
四半期包括利益	2,823	3,305
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,596	2,984
非支配株主に係る四半期包括利益	226	320

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	1,561百万円	1,685百万円
のれんの償却額	42百万円	44百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2
	物流センター事 業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
顧客との契約から生じる 収益	23,955	13,217	37,173	△0	37,173
その他の収益	219	-	219	-	219
外部顧客への営業収益	24,175	13,217	37,392	△0	37,392
セグメント間の内部売上高 又は振替高	116	535	651	△651	-
計	24,292	13,752	38,044	△651	37,392
セグメント利益	3,277	306	3,584	10	3,594

(注) 1. 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

(注) 2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「貨物自動車運送事業」セグメントにおいて、石丸運輸株式会社の株式を新たに取得したことに伴い、負ののれんが発生しております。なお、当該事象による負ののれんの発生益の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては36百万円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2
	物流センター事 業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
顧客との契約から生じる 収益	26,933	14,265	41,198	-	41,198
その他の収益	228	0	229	-	229
外部顧客への営業収益	27,162	14,266	41,428	-	41,428
セグメント間の内部売上高 又は振替高	120	651	771	△771	-
計	27,282	14,917	42,200	△771	41,428
セグメント利益	3,630	686	4,316	16	4,332

(注) 1. 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

(注) 2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。